



2017年1月15日 第13号 発行：松野まさひろ後援会 〒438-0025 磐田市新貝2500 TEL0538-37-4561 発行者：久保順裕

元気で優しいまち磐田!

「元気・安心」のまちづくりを目標に二期八年、考えを同じくする議員の仲間と共に、地域コミュニティづくりや産業振興、そのための産官学の連携強化などを働きかけてきました。こうした活動は、子育て支援策の充実や産業振興施策の推進など、活発な市政の動きに繋がっています。また、この八年間には財務体質の改善、議会改革の進展もありました。

しかし、人口の減少や少子高齢化など社会環境の変化は、磐田市の将来に不安の影を落とすつつあります。こうした環境下、安全・安心で暮らしやすい地域を将来へと育むためには、変化に対応した地域づくりや新たな福祉の仕組みづくりが必要であり、そのための継続した行政改革・議会改革が不可欠と考えます。

昨年九月に開催されたヤマハ労連の定期大会において、「松野まさひろ」の継続推薦を確認していただきました。地域に根を下ろしながら、勤労者・生活者の代弁者として、より一層活動の幅を広げ政策提言の質を高めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

磐田市議会議員

松野まさひろ

まっちゃんの七転び八起き

…日常活動のあれこれを紹介します…

第6回いわた産業振興フェア (11/11・12)

本年度は過去最高179社が参加、また、大学生・高校生への情報提供や保護者のための就活セミナーを開催したほか、障がい者雇用促進の事業者向け啓発事業も行われました。



福祉施設に観劇をプレゼント (11/29)

ヤマハ発と関連企業の労働組合が、組合員のカンパ金を基に劇団四季の演劇「王子とこじき」を障がい児・者に贈る「チャリティー公演」を開催。楽しいひとときを過ごしました。



準備作業のようす

サンタクロースに扮し出迎えるボランティア

労働者福祉協議会が政策要望 (11/15)

勤労者の福祉向上を目指す磐田地区労福協が、渡部市長に政策要望を提出、意見交換を行いました。



地域防災訓練 (12/4)

防災の基本は自助、住んでいる地域の強み弱みを日頃から把握、万が一に備えることが大切です。自分が助かったら次は共助、防災訓練では助け合いを学びます。



ヤマハ発動機各工場で餅つき大会

- 磐田南工場 (12/8) 本社工場 (12/12)
- 早出工場 (12/16) 新居工場 (12/21)
- 浜北工場 (12/27) 中瀬工場 (12/26)

従業員の安全を祈願して行われる年末恒例の餅つき大会が開催されました。



“磐田市の政策を問う！！”

…11月定例議会「代表質問より」…

12月1日、会派新磐田を代表し川崎和子議員が代表質問を行いました。概要を記載します。

代表質問って何？

年1回、市の方針や政策課題について、市長の考えを質すとともに、会派で議論・検討してきた政策を提案・要望するものです。

…渡部市政の総括と今後の市政運営について…

Q: 市政2期8年の総括とH29年度以降の市政運営の基本方針は？

A: 就任時に掲げた「財政の立て直し」「次代への基礎づくり」の目標は、概ね達成 or 目処付けが出来た。

今後は人口減少・少子高齢化社会へのスピード感ある対応を進めたい。



…地域の課題と発展について…

Q: 地域づくり協議会の進捗と今後の一括交付金実施の考え方は？

A: 協議会は既存の活動や会議の整理などを優先しているため、地域課題の解消などの効果が現れるまでには多少の時間が必要。一括交付金は防犯・交通安全活動などから着手し、数年掛けて段階的に拡大する考えである。

Q: 歩行帯のカラー化など交通安全対策の推進は。



A: 警察署など関係機関と連携し小学校等の周辺を重点に歩行帯のカラー化に取り組む。

富士見小南のカラー歩行帯

…超少子高齢社会と向き合うために…

Q: (仮称)子ども図書館の建設と子育て包括支援体制の充実の考えは？

A: 現在、基本構想づくりを進めている「(仮称)子ども図書館」に保健師・保育士・ソーシャルワーカーなどの専門職を配置、悩み相談などからケースワークまで対応できる体制を整えたいと考えている。



豊橋子ども未来館(参考)

Q: 高齢者人材の活用と雇用の促進の考えは？

A: 地域づくり協議会単位でボランティア人材バンクの設置検討をしているほか、シルバー人材センターで企業などへの人材派遣に取り組んでいる。

…福祉・医療の課題と充実について…

Q: 障がい者の就労支援の推進策を伺う。

A: 福祉課の就労支援窓口から専門相談機関につなげ就労に結びつけるよう努めている。



工事中の障害児者総合支援施設

また整備中の障害児者総合支援施設では企業からの相談も受けながら継続した支援を行う予定。

Q: 磐田市立総合病院の充実と相談体制の整備は？

A: がん拠点病院として、がんサロンの開催、緩和ケアチームの活動、外国人通訳の充実などを行っている。また看護師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカーなどを配置、相談体制の充実に努めている。

…公共事業・施設の課題と運営体制について…

Q: 公共施設整備の今後の基本方針は？

A: 学府一体校整備構想など現在策定済みの構想を優先して進める。なお本庁や支所・交流センターなどは長寿命化を図っていく予定である。



S47に建設された市役所

Q: 保育園・幼稚園の職員の正規率向上及び非正規職員の待遇改善の考えは？

A: 退職者以上の新規採用などで正規率の向上に努めている。また、非正規職員の給与は近隣市の状況も参考に改善を検討している。

Q: 市内の主要な公園について今後の構想は？



A: 安全対策を第一としながら、親しみやすい公園となるよう維持管理に全力を挙げたい。

春のつじ公園

磐田市議会十一月定例会の主な議案

◇ 平成二十八年度一般会計補正予算第四号
(約六億四千万円の追加・総額約六二八億円)

- ・ 人事院勧告に伴う給与改定など人件費の補正
- ・ 国の政策による臨時福祉給付金の経費追加
- ・ 障害者施設・高齢者施設などに防犯灯設置
- ・ 障害者施設の利用者増に伴う給付費増額
- ・ 道路や側溝の緊急修繕経費の増額

◇ 磐田市部設置条例の一部改訂

- ・ 市民部と総務部の一部を「自治市民部」に再編。

◇ 磐田市勤労者総合福祉センターの指定管理者の一部改正

- ・ 指定管理の更新に合わせ
- ・ 創業支援事業を追加する。

◇ 磐田市立学校設置条例の一部改正

- ・ 保育ニーズに対応し青城幼稚園を幼稚園型認定こども園へ移行する。

◇ 磐田市立総合病院のセカンド

オピニオン診断料を改正

◇ 第二次磐田市総合計画(平成二十九〜三十三年)度
・ 特別委員会で提案した結果を踏まえ審議を行う。

※ その他、国の法律改正に伴う条例改正など三十議案を審議します。



創業支援事業を予定しているワークピア磐田

※会期は十一月二十四日〜十二月十九日(二十六日間)

国と地方の財政を考える！

国と地方を企業に例えれば連結経営の位置づけになります。例えば、国民健康保険の制度は国が決定しますが、日常の手続きは市役所の窓口で市の職員が行っていますね。

従って、政策実現のために国会議員は地方の実態をしっかりと把握しなければなりません。一方、地方議員であっても国の動きを知り地方政策に活かすことが大切です。

今回は、国と地方の財政の課題について考えます。

…社会保障費が突出！特例国債による借入れが続く…

右のグラフは、国の歳入(収入)と歳出(支出)のH2年度と27年度を比べたものです。歳出が約30兆円増加、その内訳は社会保障費が約20兆円、国債費が約10兆円であり、増加分は(歳入のグラフから)特例国債の約30兆円で賄われていることがわかります。またH2年度には借入れた国債より返済額の方が約8.7兆円多いのに対し



* 扶助費：地方自治体における社会保障関係費のこと

29年度では借入れた国債が約36.9兆円、返済額が約23.5兆円で、差し引き借入金は約13.4兆円増加しています。

…国・地方が協力して将来負担の改善を進めたい！…

ここで磐田市の財政構造を観てみます。H17年度と27年度の比較では、扶助費(*)の大幅な増加が特徴的です。国民健康保険・介護保険などへの繰出金も増えています。(なお、磐田市はH22年度以降、借入れた市債に対し返却する市債を増やし市債残高を削減しています。)

この様に、社会保障関係費が大幅に増加する中、国債残高は現在約1,050兆円で毎年増加を続けており、公共事業の削減や社会保障制度の改革などに加え、税制の見直しなども避けて通れない重要な課題となっています。

議員も行政職員も中央・地方が協力して行政改革を進めることが大切ではないでしょうか。

労組の職場委員会等で活動報告!

本社支部職場委員会(12/14)新居分会職場委員会(12/21)東洋バス労働組合研修会(12/17)…ほか

国際的な政治情勢が大きく変化する中、国内では政治家の問題行動や不正が頻発しています。

「政治の信頼向上のため活動実態をしっかりと報告しよう！」

「有権者に政治を身近に感じてもらいたい!!」そうした思いを持ち、活動報告の機会を増やすよう努力しています。



本社支部職場委員会のようす

ちょっと一休み!!

…イルミネーション…

師走を目前に磐田駅前にイルミネーションが登場。暖かく品のある照明に囲まれた「くすのき」が磐田の玄関にふさわしく浮き上がりました。



年の瀬の慌ただしさを「師走」という言葉で表しますが、そうした風情もだんだん薄れていくような気がします。

今年も大変だったが何とかやってきた来年も頑張ろう…と、イルミネーションを見ながら、帰路につく人々の光景が脳裏に浮かびます。

磐田市に珍しいお客様!!



12/11: 鶴ヶ池で撮影

12月3日~5日にかけて、大池で2羽のコウノトリを確認。また桶ヶ谷沼・鶴ヶ池には今年もコハクチョウが飛来。…酉年に相応しいニュースとなりました。

ジュビロメモリアルマラソン (11/13)



今年も1万人を超えるマラソン愛好家が集合。ジュビロ選手の参加に加え、市民による暖かい沿道の応援、力になります。

ヤマハ発動機写真部の写真展 (11/22~27)

恒例の写真展が文化振興センターで開催され、多くの市民が鑑賞されました。



懐かしいバイクが集合 (11/6)



豊田東交流センターのイベント「懐かしのバイク大集合」が開催。私も「YAMAHA SR400」で出掛け、しばし愛車談義。

静岡県市町対抗駅伝大会 (11/3)

磐田チームは過去最高の5位入賞。それぞれの区間で頑張りを積み重ねた素晴らしい結果でした。



賑わう師走の軽トラ市 (11/11)



恒例となったジュビロードの軽トラ市が12月10日に開催され106台が出店。また、高校生カフェや障害者施設による「ぬくまるマーケット」なども行われました。

なお、平成29年10月28日・29日には「全国軽トラ市 in いわた」の開催が決定しました。

皆さまのご意見お待ちしております!…市民の力で元気な磐田のまちづくりを進めましょう…

後援会事務所 〒438-0025 磐田市新貝 2500 Tel 事務所: 0538-37-4561 自宅: 0538-24-8189

E-mail matsuno-genki@nifty.com

ホームページは (ブログもご覧下さい) … =>

松野正比呂

検索